

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	こども発達支援センター 大分なごみ園		
○保護者評価実施期間	2024年12月27日		～ 2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	62	(回答者数) 49
○従業者評価実施期間	2024年12月27日		～ 2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	平成25年から放課後等デイサービスを提供しています。開所当初から利用をいただいている児童もいる為、安心感をもって通っていただいています。広い園庭やホール、調理場等をそろえている為、様々な活動を提供できます。	季節に応じた活動を取り入れる事で様々な経験を積んでいけるように活動を検討・実施しています。また、製作や絵画造形なども提供している。	活動の中で制作した作品などを同一法人が運営する就労施設（レストラン）にて作品展を行った。多くの方に作品を見てもらう事で認められ、さらに作品作成の意欲を高める事ができる。
2	配置基準以上の配置している為、手厚い支援を提供できる体制を整えています。	引継ぎの際は具体的に児童の様子をお伝えする共に家庭での様子等を聞く事で保護者から安心感・信頼感を築いてもらえるように努めています。	職員配置の拡充した事で、長期休み、学校が早帰りの際の受け入れ時間の幅が広がる事ができた。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用回数が週に1回または2回しか利用できず、一週間を通した継続した支援が提供出来ていない。	令和6年度に大分なごみ園と戸次なごみ園が合併したことで登録児童数が増えたため。	児童・保護者に対して利用希望調査を実施し、児童にあった利用回数の精査を行うと共に、地域移行を進めていく。
2	長期休みで早い時間からの受け入れが実施できていない。	職員配置上で早い時間からサービス提供ができないため。	ニーズを精査し、必要に応じてサービス提供時間の変更をしていけるように職員配置を整えて行きたいと考えている。
3			